



IT Automation

バージョンアップ

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

第1.5版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 - 1.1 本資料について
2. システム構成
 - 2.1 動作環境・条件
3. ITA環境構築手順
 - 3.1 事前準備 (1/1)
 - 3.2 ITA環境構築フロー
 - 3.3 環境構築 (1/5)
 - 3.4 環境構築 (2/5)
 - 3.5 環境構築 (3/5)
 - 3.6 環境構築 (4/5)
 - 3.7 環境構築 (5/5)
4. ITA動作確認
 - 4.1 動作確認 (1/1)

1. はじめに

1.1 本資料について

■ 本資料について

- 本資料では、オールインワン構成でインストールされているITA環境に対して、バージョンアップを行う手順について記載しています。



2. システム構成

2.1 動作環境・条件

ITAのバージョンアップを行う環境について

- 本書の手順は、オールインワン構成でインストールされているITA環境に対して実施可能です。
- バージョンアップに対応しているITAのバージョンは**1.4.0以降**です。
1.4.0以降のITAバージョンの環境に対して、本書の手順を実施することによりバージョンアップを行うことができます。



3. ITA環境構築手順

3.1 事前準備 (1/1)

ITA環境構築ツール一覧

- ITA環境構築ツール一覧は以下となります。

説明	ファイル	格納先
ライブラリ収集スクリプト	ita_gather_library.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
環境構築ツール (オフラインインストール用)	ita_builder_offline.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
環境構築ツール (オンラインインストール用)	ita_builder_online.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
セッティングファイル	ita_builder_setting.txt	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
ITAインストーラー	ita_installer.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
アンサーファイル	ita_answers.txt	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/
バージョンアップツール	ita_version_up.sh	/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/

バージョンアップでは使用しません

3.2 ITAバージョンアップフロー

■ バージョンアップフロー

- バージョンアップは以下のフローとなっています。



3.3 バージョンアップ (1/5)

*環境構築ユーザーはrootユーザーで実施すること。

ITA環境のバックアップ

- 事前にITA環境のバックアップを取得してください。

Githubからの資材ダウンロード

- 以下のコマンドで資材をDLします。

```
# wget https://github.com/exastro-suite/it-automation/releases/download/vx.x.x/exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz
```

※wgetコマンドは事前にインストールしてください。

※バージョン(x.x.x)は適宜変更してください。

資材の展開

- .tar.gzファイルを解凍します。

```
# tar xzf exastro-it-automation-x.x.x.tar.gz
```

ディレクトリ移動

- 環境構築を設定を行うアンサーファイルとシェルのあるディレクトリに移動します。

```
# cd it-automation-x.x.x/ita_install_package/install_scripts
```

3.4 バージョンアップ (2/5)

■ アンサーファイル(ita_answers.txt)を編集

- ITAのバージョンアップ設定を行うアンサーファイルを事前に作成してください。
- バージョンアップに使用する項目は「 ita_directory」のみで、その他の項目は使用いたしません。

種目	必須	初期値	説明
install_mode	—	Install	インストールモード (インストール(Install)/アンインストール(Uninstall))
ita_directory	○	—	インストールディレクトリ ITAをインストールするディレクトリを絶対パスで指定してください。 全ユーザーが参照可能なディレクトリを指定してください。 ディレクトリが無い場合作成されます。
ita_language	—	en_US	ITA画面表示の言語 (日本語 (ja_JP) / 英語 (en_US))
ita_os	—	RHEL7	ITAのOS(RHEL7 系の場合は(RHEL7)/ RHEL8 系の場合は(RHEL8))
db_root_password	—	—	MariaDBのrootパスワード
db_name	—	—	MariaDBのDB名
db_username	—	—	MariaDBのDBユーザー名
db_password	—	—	MariaDBのDBパスワード
ita_base	—	yes	ITA本体のインストール ("yes"のみ)
Material	—	no	構築資材管理機能のインストール有無指定
create_param	—	yes	メニュー作成機能のインストール有無指定
Hostgroup	—	yes	ホストグループ機能のインストール有無指定
ansible_driver	—	yes	Ansible driverのインストール有無指定
cobbler_driver	—	no	Cobbler driverのインストール有無指定
openstack_driver	—	no	OpenStack driverのインストール有無指定
terraform_driver	—	no	Terraform driverのインストール有無指定

3.5 バージョンアップ (3/5)

■ アンサーファイル(ita_answers.txt)のサンプル

- アンサーファイル(ita_answers.txt)のサンプルを以下に示します

```
#Select install mode. ("Install" or "Uninstall")
# e.g) install_mode:Install
install_mode:

#Enter install directory.
# e.g) ita_directory:/exastro
ita_directory:/exastro

# Select language. ("en_US" or "ja_JP")
# e.g) ita_language:en_US
ita_language:

# Select Operation System. ("RHEL7" or "RHEL8")
# e.g) ita_os:RHEL8
ita_os:

# Enter the MariaDB root user's password
# e.g) db_root_password:sample_root_password
db_root_password:

# Decide the database name, username, and password for ITA.
# e.g) db_name:sample_db_name
db_name:
# e.g) db_username:sample_db_username
db_username:
# e.g) db_password:sample_db_password
db_password:

# Select the target you need to install.
# yes : need
# no  : no need
ita_base:
material:
createparam:
hostgroup:
ansible_driver:
cobbler_driver:
openstack_driver:
terraform_driver:
```

POINT

バージョンアップで
使用する項目は
「ita_directory」のみ
です。
その他の項目は使用いた
しません。

3.6 バージョンアップ (4/5)

バージョンアップツール実行

- 以下のコマンドで、バージョンアップツールを実行します。

```
# sh ita_version_up.sh
```

- 実行中に、ITAに必要なライブラリのインストールを実施するかどうか以下の確認メッセージが出力されるため、yesかnoを入力してください。

QUESTION : Automatically install the libraries that are required for ITA? Enter "yes" or "no".

オンライン環境でライブラリを自動でインストールする場合は"yes"、
オフライン環境、またはライブラリを自動でインストールしない場合は"no"を入力してください。

バージョンごとにインストールされるライブラリは次ページを参照してください。

処理の確認

- 正常に終了すると、取得した資材のバージョンに上げることができます。
- バージョンアップツールを実行するとita_version_up.logに処理内容が出力されます。
- ログ格納パス

/(インストール資材展開先)/ita_install_package/install_scripts/log/

3.7 バージョンアップ (5/5)

バージョンアップ時にインストールされるライブラリ一覧

- ライブラリのインストール有無に“yes”を入力した場合、インストール済のドライバに応じて以下のライブラリが自動でインストールされます。
“no”を入力した場合、手動でライブラリのインストールを実施してください。

バージョン	インストール済ドライバ	ライブラリ名	インストールコマンド	必須	用途
1.5.0	ita_base	php-devel	yum install -y php-devel	○	YAML解析ライブラリ (yaml) に使用。
		libyaml	yum install -y libyaml	○	YAML解析ライブラリ (yaml) に使用。
		libyaml-devel	yum install -y libyaml-devel	○	YAML解析ライブラリ (yaml) に使用。
		make	yum install -y make	○	YAML解析ライブラリ (yaml) に使用。
		yaml	pecl install yaml	○	YAML解析ライブラリ (yaml) に使用。
	ansible-driver	nc	yum install -y nc	-	プロキシ環境下のITAからAWSなどの対外サーバにプロキシサーバ経由でSSH接続しAnsible Playbook実行する際のSSHコマンドオプションに使用。
		paramiko	pip3 install paramiko	-	ansible_connectionにnetwork_cliを指定してネットワーク機器に接続するために必要。

4. ITA動作確認

4.1 動作確認 (1/1)

バージョンの確認

- ITAにログイン後、[管理コンソール]-[バージョン情報]メニューでバージョンが上がっていることを確認してください。



The screenshot displays the Exastro IT Automation management console. The top header features the Exastro logo and the text "管理コンソール". A left-hand menu lists various system management options. The main content area is titled "バージョン情報" (Version Information) and contains a table listing the versions of various components. The "バージョン確認" (Version Confirmation) option in the left menu is highlighted with a red dashed box.

ドライバ	バージョン
Base	Exastro IT Automation Base functions version 1.5.0
Ansible	Exastro IT Automation Ansible Driver version 1.5.0
Cobbler	Exastro IT Automation Cobbler Driver version 1.5.0
Create_param	Exastro IT Automation Create_param version 1.5.0
Hostgroup	Exastro IT Automation Hostgroup version 1.5.0
Hostgroup2	Exastro IT Automation Hostgroup2 version 1.5.0
Hostgroup3	Exastro IT Automation Hostgroup3 version 1.5.0
Material	Exastro IT Automation Material version 1.5.0
Material2	Exastro IT Automation Material2 version 1.5.0
Material3	Exastro IT Automation Material3 version 1.5.0
OpenStack	Exastro IT Automation OpenStack Driver version 1.5.0
Terraform	Exastro IT Automation Terraform Driver version 1.5.0



Exastro